

第4回・ケーブルメディアワイワイpresents

中島啓太カップジュニアゴルフチャンピオンシップ

開 催 日：2026(令和8)年3月31日(火)

開 催 コ ー ス：美々津カントリークラブ

ジュニアゴルフチャンピオンシップ実行委員会

競 技 の 条 件

2025年・ジュニアゴルフチャンピオンシップ実行委員主催競技は、(公財)日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2023年1月施行)と、このローカルルールと競技の条件を適用する。これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。下記に参照するローカルルールの全文については2023年1月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」、及びJGAホームページ掲載の「2023年ゴルフ規則の詳説」を参照すること。

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰。
(ストロークプレーでは2罰打)。

1. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. クラブと球

(a)適合ドライバーヘッドリスト:ローカルルールひな型G-1を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格

(b)溝とパンチマークの仕様:ローカルルールひな型G-2を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格

(c)適合球リスト:ローカルルールひな型G-3を適用する。

このローカルルールの違反の罰:失格

注:適合クラブと球の更新されたリストは、JGAホームページで閲覧できる。

3. プレーの中断と再開(規則5.7)

(1)プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については規則 5.7に従って処置すること。

(2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが即時中断となった場合、すべてのプレーヤーは、直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 5.7b(例外)に決められているような罰を免除する正当な事情がなければその競技者は競技失格とする。

(3)プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 短い間隔のサイレンを繰り返し鳴らして通報する。

注: 険悪な気象状況による中断中は、委員会が開放と宣言するまで、すべての練習施設は閉鎖となる。閉鎖されている施設で練習したプレーヤーは参加を取り消されることがある。

4. ホールとホール間の練習(規則5.2)

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反は、次のホールに一般の罰。

5. 移動

小学生の部は、カート乗車可とする。(保護者が、運転補助として帯同すること。〔選手1名につき保護者1名〕) 中・高生の部は、歩き(担ぎ及び手引きカート ※電動手引きカートは使用禁止)とする。

〔但し、アウト4番(グリーン終了時点)～5番(ティグラウンド)並びにイン15番(グリーン終了時点)～16番(ティグラウンド)にかけては、上り坂なのでカートにて搬送する事とする。〕

尚、9番・18番ホールアウト後、クラブハウスへもカートにて搬送する。

6. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する。

7. タイの決定

マッチングスコアカード方式(インコース)により順位は決定。

8. 競技終了時点

競技委員会の作成した順位表が掲示された時点をもってその競技は終了したものとみなす。

9. 使用ティー

①. 中・高校生男子の部 バックティー 「黒」を使用する。 [6,677]

②. 中・高校生女子の部 レギュラーティー「青」を使用する。 [6,390]

③. 小学生高学年の部 ゴールドティー 「ゴールド」を使用する。[5,306]

④. 小学生低学年の部 臨時ティー 「赤」を使用する。 [2,290]

10. 距離測定の使用

距離測定機器の使用可。〔但し距離測定のみ〕

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則18.2)
 - (a) アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
 - (b) NO6番ホールとNO7番ホールの両サイドにOB線を設置し、双方からこれを超えた球はすべてOBとする。
2. ペナルティーエリア(規則17)
 - (a) レッドペナルティーエリアの境界は赤杭又は赤線で示す。線と杭が併用されている場合は、線がその境界を標示し、杭はペナルティーエリアの場所を示す。
 - (b) NO4番のティショットが、左のレッドペナルティーエリア(池)に入った場合は、前方のドロップエリアから、第3打としてプレーしなければならない。
3. 異常なコース状態(規則16.1)

修理地の境界は、青杭または白線で示す。プレーヤーの球が青杭、白線で表示してある区域内にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスイング区域の妨げとなる場合 には、プレーヤーは規則16.1(異常なコース状態)による救済を受けることができる。
4. 障害物
 - (a) 場内整理用の縄張り施設は障害物とみなす。
 - (b) 排水溝は動かさない障害物とみなす。
 - (c) 動かさない障害物に接している他の動かさない障害物は一体の障害物とみなす。
 - (d) 動かさない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
 - (e) 動かさない障害物によって囲まれた造園区域(花壇、低木の植え込みなど)はその障害物の一部とみなす。
 - (f) 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
5. コースと不可分の部分
 - (a) 巻物、ワイヤ、ケーブル等で樹木に密着している部分
 - (b) レッドペナルティーエリア内にある護岸用の構築物
6. コールオンについて

各ショートホールにおいて、先行組が詰まった場合は、後続組を打たせる事が出来る。(但し競技委員会の承諾を得ること)
7. 紛失球やアウトオブバウンズの球についてストロークと距離に代わる選択肢(ローカルルールひな型 E-5)

球が紛失(捜索時間の3分を経過)、OBの場合OBラインを超えたと思われる地点、紛失球があると思われる地点を「球の基点(A)」とし、ホールに近づかず、Aとホールを結んだ同距離でフェアウェイとラフの境目を「フェアウェイの基点(B)」として、フェアウェイ側に2クラブレンジと(A)との間のエリアでホールを結んだ後方を救済エリアとして、そこに2打罰でドロップすることができる。〔但し4番の第1打が池の場合は、前方のドロップエリアから、第3打でプレー〕
8. 46インチを超える長さのクラブの使用を禁止する

2023年ゴルフ規則の詳説 委員会の措置、「ローカルルールひな型G-10」を適用する。
9. 携帯電話の使用について

本大会では、携帯電話(スマートホン)及び電子機器の持込・使用を禁止する。
10. カート道の裸地について

カート道に接している裸地(芝のはえていない部分)は、カート道の一部とみなす。

注 意 事 項

1. グリーン上に於いてパター以外のクラブを使用してはならない。パターが破損又は、紛失した場合は同伴者の同意を得てアイアンクラブ以外のクラブを使用する事を認める。
2. ローカルルールや競技の条件に追加、変更があるときは、スターティンググラウンド付近に掲示して告示する。
3. パッティンググリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する。
4. スタートの呼出は一切行わないので、スタート10分前までにはスターティングホール付近に待機すること。
5. 競技当日の練習場においては備え付けの球を使用し、練習球は1コイン(30球)までとする。尚、使用クラブは180ヤード以内のクラブのみ使用可能とする。
6. 競技前日の練習は、アウト、インともスタートを14時30分で打ち切る。
7. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
8. 委員会は規則1.2に基づき、エチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

競技委員長 池田 博人